

国指定史跡

旧和中散本舗

国指定名勝

大角家庭園

特別公開

公開日

2021年 5月
22日(土)・23日(日)、
28日(金)・29日(土)・
30日(日)

開館時間 10:00 ~ 16:00
(最終受付 15:30)

入館料 大人(高校生以上) 500円
小人(小・中学生) 200円

同時
特別公開 **法界寺**

六地藏の名の由来になった六地藏の地蔵菩薩立像が安置されていましたが、現在は一体が残っているだけです。平安時代後期の作で、重要文化財となっています。和中散より徒歩3分、入場無料でご覧いただけます。

東海道沿いにあり、家康公の腹痛を治した薬「和中散」で全国にその名を知られるように。また、「間の宿」として公家や大名などのお休み本陣としても栄えました。現在は、大角家住宅は国指定重要文化財、庭園は国指定名勝に指定されています。

本元家梅木村元祖

わちうき
うき書看板外装

共催 大角家・栗東市観光協会

協力 栗東市ボランティア観光ガイド協会

お問合せ 一般社団法人栗東市観光協会事務局 滋賀県栗東市手原 3 丁目 1-30 (手原駅 2 階) TEL 077-551-0126

国指定史跡

国指定名勝

旧和中散本舗
大角家庭園

特別公開

公開日

2021年
5月22日(土)・23日(日)・
28日(金)・29日(土)・
30日(日)

開館時間

10:00 ~ 16:00

(最終受付 15:30)

入館料

大人 (高校生以上) 500 円
小人 (小・中学生) 200 円



お問合せ

一般社団法人栗東市観光協会
ritto tourism association
〒520-3047
滋賀県栗東市手原 3 丁目 1-30
(手原駅 2 階)
TEL 077-551-0126
ホームページ
<https://www.ritto-kanko.com/>

旧和中散本舗とは

旧和中散本舗の所在する栗東市六地藏は古くは梅木村 (うめのきむら) といい、東海道の草津宿と石部宿の中間にあって、古来より間の宿として栄えてきたところです。間の宿とは本宿と本宿とのあいだにあって、旅人を休憩させた村のことで、今から約 400 年前、元和 (1615 ~) の頃にはここに大きな樹海があり、その木陰で旅人に葉を売っていました。その葉を和中散といい江戸時代には同業者が 5 軒に増えて本家を是斎 (ぜさい) と称しました。現在の建物は、寛永年間 (1624 ~) に建てられたもので、昭和 29 年 3 月に国指定重要文化財の指定をうけました。製葉場には木製動輪の直径 4 メートルにも及ぶ大きな車輪が残っています。



梅木小休み本陣とは

梅木村は草津宿と石部宿の中間にあたるので、ここで公卿や諸大名たちが小休憩されるならわしとなり小休み本陣と称した。いつの頃からここが小休み本陣になったのか詳細は不明だが、承応元年 (1652) から『御大名様方御入駕帳』(いわゆる宿帳) が残されていることからして、少なくともその頃から小休み本陣であったことがわかります。小休み本陣の建物は、街道に沿って切妻造りの四脚門があり、袖塀 13 尺 (約 4 メートル) がそれに付せられています。門を入ると切妻造りでひさし付きの式台玄関があり、千鳥破風となっていて素晴らしい欄間の彫刻を見ることができます。

大角家庭園とは



江戸幕府成立後、参勤交代の制が布かれ全国各地に宿場が出現し、本陣や脇本陣と称する諸大名の宿泊所ができました。本陣には宿泊の人が多く旅情をなぐさめるために必要な庭園が造られましたが、明治維新以来、本陣の必要がなくなると荒廃し、現在も保存され残るものは数少なく「大角家庭園」はそのひとつです。本庭は和中散本舗の表書院奥庭となり、左右に他の書院を控えて中庭的存在となっています。全面積は約 120 坪 (約 400 平方メートル) ほどあって、池泉観賞式の庭です。

出典:「日本庭園史大系」重森三玲 著

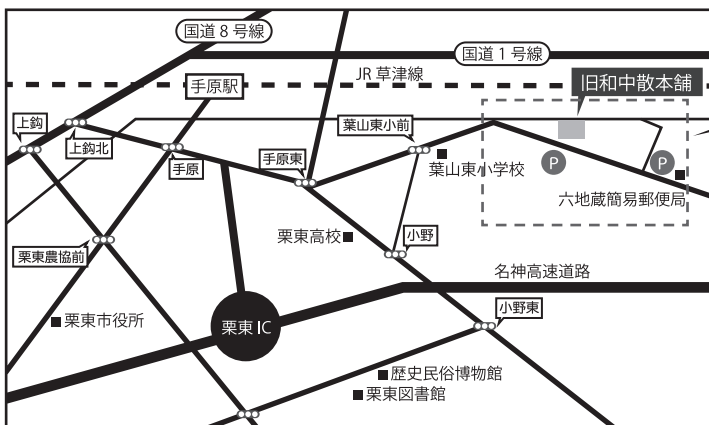
会場案内



特別公開期間中は、栗東市の語り部 (栗東市ボランティア観光ガイド) が館内を無料でご案内いたします。お気軽にお声掛けください。

電車の場合 JR 草津線手原駅下車徒歩 25 分、
または、バス乗車「旧和中散本舗」バス停降りてすぐ

お車の場合 名神高速道路栗東 IC より約 5 分
大角家住宅駐車場 (無料) もしくは六地藏簡易郵便局となり臨時駐車場 (無料) をご利用ください。



駐車場周辺拡大図

